

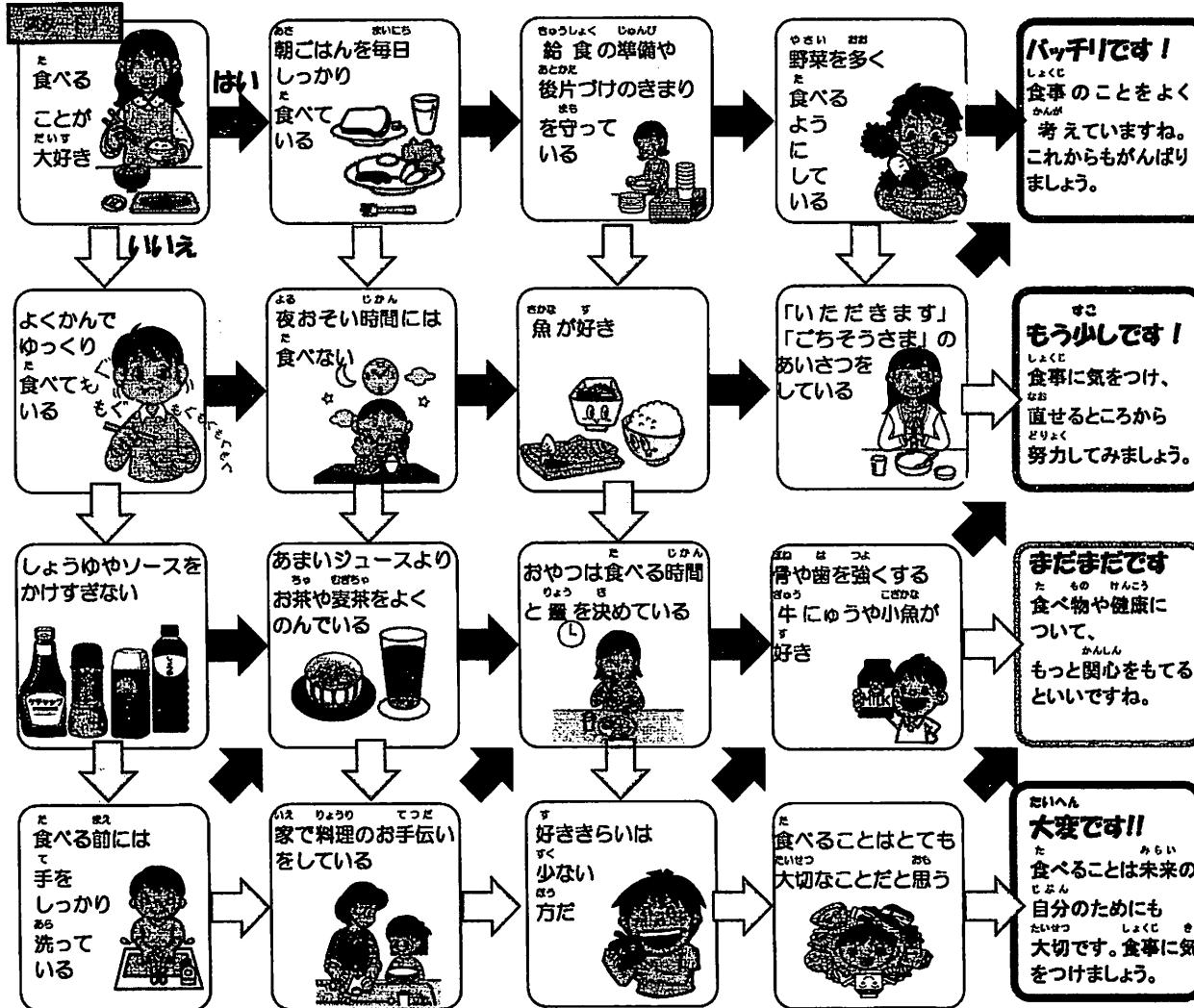
お食いより

令和4年・3月
栃木市立栃木第四小給食共同調理場

日中は太陽の日差しが強くなり、暖かい日が少しずつ増えてきました。今の学年で過ごす日々もあとわずかですね。できたこと、もう少しがんばりたかったことなど、この1年間をふりかえり、新しい学年や学校に向けた準備をしていきましょう。

1年間をふり返り、自分の食生活をチェックしてみよう！

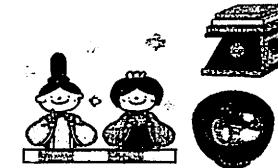
判定は？



しょくぶんか 知っていますか？3月の食文化

3月は、「弥生」といいます。「弥(いや)」には「いよいよ、ますます」、そして「生(おい)」には草木が芽吹くという意味があります。この「いやおい」が縮まって「やよい」になったといわれます。ひなまつりやお彼岸の行事があり、また卒業式のシーズンです。

ひなまつり



お彼岸



卒業式



女の子の健やかな成長を願う節句のお祭りです。赤・白・緑の3色のひし餅、ちらし寿司、はまぐりのすまし汁、ひなあられなどがあります。

春分の日、秋分の日を中日にして前後3日ずつの7日間を「彼岸会」といいます。御先祖様に感謝し、お墓参りなど仏事を行います。お供え物として「ぼたもち」や「おはぎ」を作ります。

入学試験の合格が決まった日や卒業式などには、もち米に小豆やササゲを入れて蒸した「赤飯」がよく出されます。昔から赤い色には魔除けの力があるとされ、お祝い事の食事に用いられてきました。

今年度の給食は、3月23日で終了いたします。給食を通して、子どもたちのうれしい笑顔をたくさん見ることができました。「おいしかった！」や「ごちそうさま」の声、空っぽになって教室から戻ってきた食缶を見ることが、スタッフ全員の大きな励みになっています。来年度も食品や調理過程の安全には細心の注意を払いながら、おいしい給食を提供できるように努めていきます。1年間、本当にありがとうございました。